

飛騨農林事務所の普及活動状況（令和5年11月30日現在）

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■指導・青年農業士 飛騨高山高校で農業教育について語る

飛騨地域では、指導・青年農業士が飛騨高山高校生のインターンシップ受け入れ、生徒への農業講話会、学校教育への意見交換会等により、地元根付く次世代の人材育成を行っている。

11月15日、飛騨高山高校生32名に農業士3名が自らの経験から育んだ農業への思い、経営方針、人生観を熱く語り、農業の面白さを伝えた。その後、農業士等21名、教員22名、農林事務所11名による農業教育連絡協議会を開催し、本年度の反省と課題、今後の連携の在り方について意見を交換した。

今後も連携を密にし、次代の飛騨の担い手育成を進める。



【農業の魅力語る農業士】

安心で身近な「ぎふの食」づくり

■大豆 飛騨市内で収穫が進む

飛騨市古川町では、水田に転作する作物として大豆の栽培を行い、これまで地域の水田を守ってきた。

今年は、は種期の降雨や生育期の高温少雨に応じ、こまめな管理を続けてきた。秋は天候に恵まれ、古川町大豆生産組合が、平年並みの10月26日にコンバイン収穫を開始した。

は種の時期がばらついたため、成熟の進み具合が様でなく、農業普及課では、収穫の時期の判定法など適期収穫について指導を行ってきた。今後は12月まで乾燥・調製を行う。

一部で子実の障害が発生したため、原因と対策をまとめ、次年度の作付けに生かしていく。



【コンバインで大豆を収穫】

ぎふ農畜産物のブランド展開

■夏秋トマト 灰色かび病の耕種的防除に関する現地検討会を開催

11月2日、県農業技術センター病理昆虫部の研究員を招き、灰色かび病の耕種的防除に関する現地検討会を開催した。

農業普及課からは、灰色かび病の発生を減らす効果が期待される果房裏の摘葉処理について、現地で実証した結果を報告した。農業技術センター研究員からは、結果のまとめ方について助言を受けるとともに、試験で得られたデータの活用法について両者で意見を交換した。

今回の実証の結果は、生産者の組織が主催する12月の研修会で報告する予定である。



【現地で成果を検討】

■水稻 「飛騨の美味しいお米・食味コンクール」が開催

11月2日、「第9回飛騨の美味しいお米・食味コンクール」がJAひだで開催され、農業普及課もスタッフとして参加した。

飛騨地域の3市1村から計623点が出品され、食味値と味度を競い合った。最終的に審査

員15名が実食し、コシヒカリ部門5点、こだわり米部門2点、小学校部門1点が金賞に選ばれた。

今年は高温による登熟不良が懸念されたが、食味値と味度の合計が200点中180点以上の米が上位に並び、ハイレベルな大会となった。

農業普及課は、今後もおいしいお米づくりの取組を支援していく。



【コシヒカリ部門の
金賞受賞者】

■飛騨ねぎ 飛騨ねぎ品評会で審査

11月15日、丹生川飛騨ねぎ研究会では、県の飛騨美濃伝統野菜でもある飛騨一本ねぎの出荷を間近に控え、品評会を実施した。

夏の高温により生育が鈍くなったが、秋からは10月下旬以降の寒さなどで成長が進み、出荷の時期を迎えた。

農業普及課も審査に参加し、出荷規格に従い、しおれや病虫害が発生していないかなどを手に取り確認した。甲乙つけがたい出品物が並び、12月に向け、例年と比べても高品質なねぎの出荷が期待される。



【ねぎの審査】

■飛騨パプリカ 天敵を利用した実証の次年度計画を検討

グリーンな飛騨パプリカ栽培協議会では、国の事業を活用し、環境に負荷をかけないパプリカ栽培に取り組んでおり、6月から6戸の生産者ほ場で天敵昆虫等を活用した防除体系の実証を行っている。

11月22日、協議会が技術導入の検討会を開催した。農業普及課からは調査の結果を報告し、次年度に行う実証の方針を提案した。

参加した生産者からは、「導入した天敵の効果を実感しており、利用を継続したい」との声があがり、取組の継続に向け前向きな検討会となった。

農業普及課では今後も関係機関と連携し、現地で実践できるグリーンな栽培体系の検証・普及を進めていく。



【次年度実証について提案】

■ほうれんそう 清見・高山南合同プロジェクト視察研修会を開催

11月27日、清見・高山南合同プロジェクトが視察研修会を行い、会員5名と関係機関2名が愛知県豊山町のセントライ青果および、シンジェンタジャパン名古屋支店を訪れた。

セントライ青果では、生産者が市場の担当者と、ほうれんそうの単価の現状について意見を交換した。

農薬等を販売するシンジェンタジャパンでは、薬剤の紹介や、ほうれんそう白斑病に効果的な農薬の成分などについて説明を受け、生産者は真剣に話を聞き、活発な質疑応答がなされた。

農業普及課では、引き続き安定したほうれんそうの生産と生産者の課題解決に向け、関係機関と連携し支援していく。



【シンジェンタジャパン
で話を聞く生産者】